

【既定】	地域認知症ケアの推進	予算額	896 千円
【既定】	地域包括支援センター事業	予算額	759,710 千円
【既定】	生活支援体制整備事業	予算額	35,680 千円
【特会】	認知症総合支援	予算額	9,672 千円
【特会】	包括的ケアマネジメント支援	予算額	20,000 千円

### 事業の目的・概要

更なる超高齢化の進展等を見据え、地域包括ケアシステム※と認知症施策の一体的な推進の深化を図ることを通じて、誰もが住み慣れた地域で安心して支え・支えられながら自分らしい生活を続けることができる共生社会づくりに取り組みます。

※ 地域包括ケアシステム…高齢者等が尊厳を保ちながら、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制

### 主な取組内容

- **地域包括支援センター（ケア 24）の機能強化 拡充**  
 地域包括ケアシステムの中核となるケア 24（20 所）における専門人材の確保・定着と体制強化を図るため、各運営事業者に対する財政支援を拡充するとともに、引き続き、区の事業評価や研修等による支援を行います。
- **生活支援体制整備事業の推進**  
 区全域を第 1 層協議体、ケア 24 の担当区域を第 2 層協議体とし、それぞれに配置する生活支援コーディネーターを中心に、地域の団体・住民等と連携・協力して、支え合いによる高齢者等の生活を支援する体制づくりを推進します。第 2 層協議体（令和 5 年度末・約 60 組織）については、引き続き、地域の実情に応じて組織の充実・強化を図ります。
- **認知症施策の推進 拡充**  
 共生社会の実現を推進するための認知症基本法（令和 6 年 1 月 1 日施行）を踏まえた施策の推進に取り組みます。

区分	取組の概要
チームオレンジの育成	認知症の人や家族を支援するチームオレンジは、令和 8 年度までの 20 チーム設置に向け、令和 6 年度は新規 3 チーム（累計 15 チーム）の組織化を図ります。
若年性認知症の支援	区と関係機関による若年性認知症支援会議を通じた個別支援のほか、交流及び本人発信の場となる若年性認知症本人ミーティングを実施します。
認知症予防・共生講座の開催	区民を対象に認知症に関する正しい知識と認知症の人に関する正しい理解を深める講座を開催し、共生社会づくりを推進します。